

Shark **TURBO**BLADE

ハイパワータワーファン

TF200SJ

取扱説明書



Sharkハイパワータワーファンを お買い上げいただきありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- ご使用の前に、製品の保証登録を行ってください。製品登録の方法については本書の裏面をご覧ください。

本取扱説明書の対象形式：TF200SJ

仕 様

電源	AC 100V、50-60Hz
定格消費電力	90W
外形寸法	W250 × D299 × H1139～1300 mm ^{※1}
質量	6.5kg ^{※2}
電源コードの長さ	1.8m
風量設定	10段階/ブーストモード
首振り角度	45°/90°/180°
タイマー設定	1/2/4/8/12時間

※1 高さは表示範囲で調整可能

※2 組み立て完成時

目次

はじめに

安全上のご注意	4
同梱物	7
各部の名称	8

準備

組み立て方	9
リモコンの準備と収納	10

使い方

風向きの変更	11
タワーファンとリモコンの表示	12
操作方法	13
電源のオン/オフ	14
風量設定	14
送風モード設定	15
自動首振り設定	16
左右角度調整	16
タイマー設定	17
消音設定（ミュート機能）	17

お手入れ

フィルターのお手入れ	18
タワーファンのお手入れ	19
リモコンの乾電池交換方法	19

その他

トラブルシューティングとよくある質問	20
交換部品	22
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	23
保証と登録	
・保証書	24
・購入証明書等貼付欄	25
・製品登録	28

安全上のご注意

本製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。お使いになる方や他者への危害と財産の損害を防ぐため、お守りいただきたいことを説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの		してはいけない内容 (禁止事項)
 注意	誤った取り扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの		実行しなければならない内容 (強制事項)

 警告

火災・感電・けが・やけど・故障の原因

	乾電池の強制放電、充電、分解、加熱、焼却はしない
--	--------------------------

火災・感電・けが・故障の原因

	本製品の改造や修理をしない ・改造や修理をした場合は、保証の対象外となります。
	以下の場合には使用しない ・電源コードや電源プラグが損傷している場合 ・通常どおりに動作しない場合 ・落としたり、衝撃を与えた場合 ・損傷や劣化がみられる場合 ・屋外に放置した場合 ・浸水した場合 ・改造や修理を行った場合 ・本製品が正しく組み立てられていない場合
	以下の場所では使用しない ・湿った場所や水気のある床面 ・屋外 ・浴室など水のかかる場所 ・プールや浴槽など、水を張った設備の近くで、本製品が水没する可能性のある場所

	電源コードを傷つけない、無理に曲げたり、引っ張らない。束ねて使用しない ・電源コードを持って本製品を引っ張ったり移動させないでください。また電源コードを持ち手として使用しないでください。 ・電源プラグをコンセントから引き抜く際には、電源コードを持たずに、電源プラグを持って引き抜いてください。 ・電源コードの上に本製品を置いたり、電源コードを扉に挟んだり、無理に曲げたり、加熱された表面の近くに放置したりしないでください。
	延長コードを使用しない
	吹出口やフィルターパネル(吸気口)など、空気の通り道をふさがない ・ほこり、糸くず、髪の毛、その他空気の流れを妨げるものが付着しないようにしてください。 ・空気の通り道がふさがり、可能性があるため、布団の上など、表面がやわらかい場所には設置しないでください。
	空気の通り道がふさがっている状態では使用しない ・空気の通り道をふさいだ場合、本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ・空気の通り道をふさいでいるものを全て取り除いてから、電源プラグをコンセントに差し、再度本製品の電源を入れてください。

 警告

火災・感電・けが・故障の原因

	子供に本製品で遊ばせない
	水やその他の液体に浸さない ・本製品の清掃には、温かい石けん水に浸してよく絞ったマイクロファイバークロスを使用し、製品の外側を拭いてください。 ・本製品のお手入れに合成洗剤を使用しないでください。
	身体能力、感覚能力、思考能力が低下している場合、単独での使用は避ける。経験や知識が十分でない場合(子供を含む)、単独での使用は避ける ・安全に責任を負える人の監督、指導のもとで使用してください。
	電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く
	電源プラグは根元まで確実に差し込む
	リモコンの乾電池は、プラスとマイナスを正しく挿入する
	電源コードや電源プラグが損傷しているときは自分で修理・交換せず、シャークニンジャカスタマーサポートに連絡する
	使用しない時やお手入れを行う時は、電源プラグをコンセントから抜く

火災・感電・故障の原因

	電源コードをカーペットやラグなどの敷物で覆ったり、家具や電化製品の下に敷かない
---	--

感電・けが・故障の原因

	濡れた手で本製品および電源プラグを触らない
	吹出口やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない
	電源プラグを抜く前に本製品の電源を切る
	本製品は水平で平らな場所で使用する ・椅子や家具の上など、不安定な場所に置かないでください。

火災・故障の原因

	リモコンの乾電池を交換する場合は、同じ種類の乾電池を使用する ・交換の際は、2本とも新しい乾電池を使用し、異なる種類の乾電池を混ぜないでください。
---	---

けが・故障の原因

	長期間使用しない場合は、リモコンから乾電池を取り外す ・地域の規制に従ってリサイクルまたは廃棄してください。
--	--

体調不良の原因

	風を長時間身体に当てない
---	---------------------

警告

誤飲・けがの原因

	以下のものを子供の手の届く場所に置かない ・ 乾電池 ・ その他の小さい部品
	リモコンの乾電池収納部は常に完全に閉める ・ しっかりと閉まらない場合は使用を中止し、乾電池を取り外して、子供の手の届かない場所に保管してください。

けがの原因

	保護者による監視のない状態で本製品の清掃やお手入れを子供に行わせない
---	------------------------------------

注意

けがの原因

	電源コードは人通りが多い場所を避け、つまづくことのない場所に設置する
--	------------------------------------

故障の原因

	フィルターが取り付けられていない状態で本製品を使用しない
	Shark純正の付属品以外は使用しない
	お手入れのあとは、フィルターが正しく取り付けられていることを確認する

乾電池の廃棄について

本製品のリモコンには2本の単4乾電池（1.5V）が使用されています。使用済みの乾電池はリモコンから取り外して、お住まいの自治体の回収ルールに基づいて処分してください。お住まいの地域によって回収方法が異なります。乾電池が入ったままのリモコンを家庭ごみとして廃棄したり、焼却したりしないでください。

同梱物

※画像は実際の製品と多少異なる場合があります。



ポールおよび
ブレード(×1)



ブレード×1



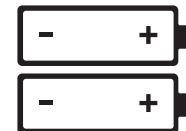
ベース



リモコン



ベースプレート

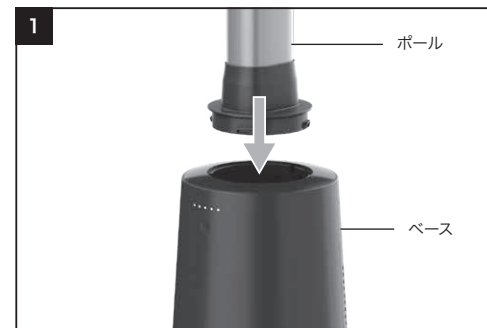
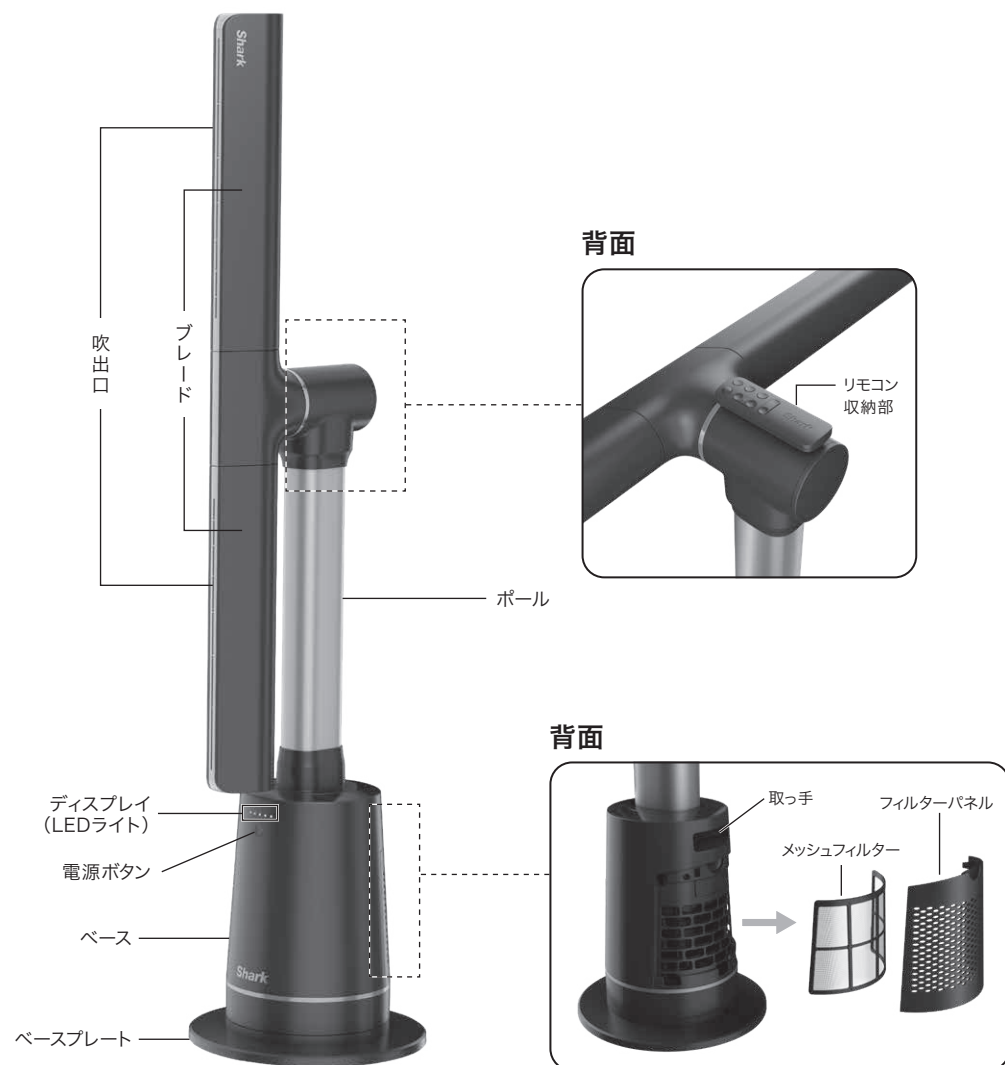


単4乾電池×2

注：ベースとベースプレートはあらかじめ組み付けられた状態で出荷されます。

注：ポールの片側にはあらかじめブレードが装着された状態で出荷されます。

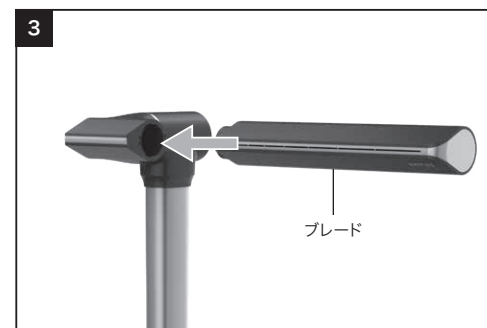
組み立て完成図(タワーファン)



1. ポール下部とベースの赤い三角の目印(▲)の位置を合わせて、ポールを差し込みます。



2. ポールを時計回りにカチッと音がするまで回します。組み立て後、ベースとポールに付いている保護用の段ボールとテープは取り外してください。

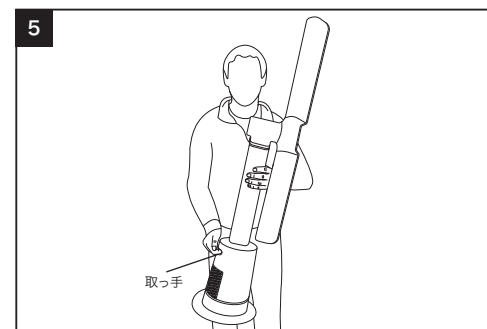


3. ブレードが装着されていない方のポールと、ブレードに2つずつある赤い三角の目印(▲)を合わせます。

※上図のようにブレードを横向きにすると組み立てやすくなります。



4. ブレードをカチッと音がするまで差し込みます。



5. 水平で安定した場所に設置します。移動の際には、ベース背面の取っ手を持ち、ポールを支えながら持ってください。

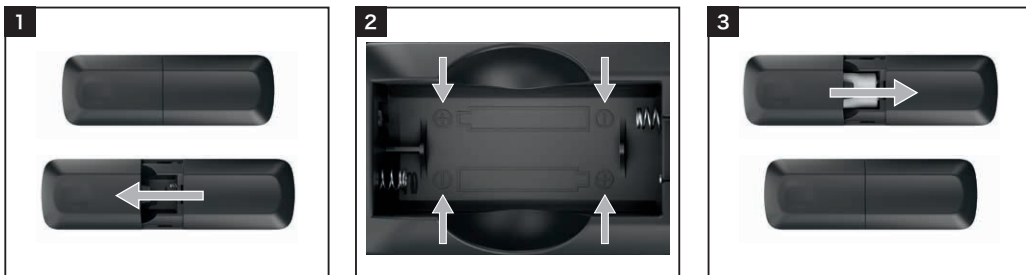


6. 電源プラグをコンセントに差し込み、タワーファンまたはリモコンの電源ボタン(⏻)を押して電源を入れます。

※リモコンの準備と電源の入れ方についてはP.10、P.14をご覧ください。

リモコンの準備と収納

リモコン裏面のカバーをスライドさせて外し、付属の単4乾電池2本を取り付けます。乾電池を取り付ける向き(+/-)に注意してください。

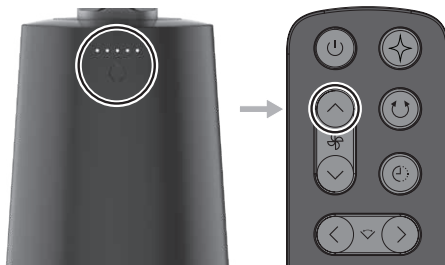


1. リモコン背面の電池カバーを軽く押し下げてから、カバーをスライドさせて外します。
2. 単4乾電池2本を取り付けます。乾電池は、電池収納部に示してある向きに合わせて正しく取り付けてください。
3. リモコン背面の電池カバーをスライドさせて元の位置に戻してください。

リモコンが動かない場合

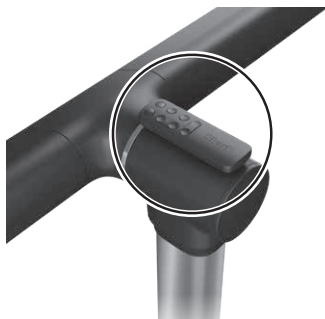
リモコンが動かない場合、以下の手順でリモコンとタワーファンを接続します。

1. リモコンに単4乾電池が入っていることを確認します。
2. タワーファンの電源ボタン(⏻)を20秒間長押し、ディスプレイのLEDライトが点滅している間にリモコンの風量調整ボタン(🌀)の上矢印(↑)を押してリモコンをタワーファンと接続します。
3. リモコンが正しく動作するか確認します。リモコンを操作してもタワーファンが反応しない場合、リモコン内の乾電池を入れ直して再試行してください。



リモコンの収納

リモコンを使わない時は、ポール天面のリモコン収納部にマグネットで収納できます。



風向きの変更

手動でブレードの向きや吹出口の角度、タワーファンの高さを調整することができます。また、リモコンを使って左右の自動首振りや角度調整が設定できます。



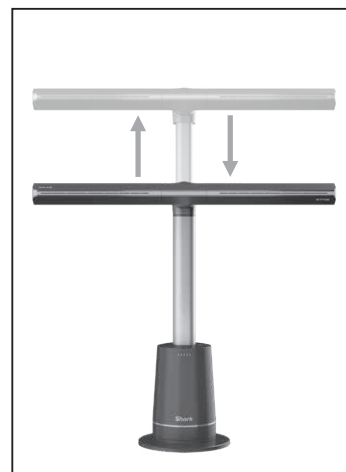
ブレードの回転(手動)

360°回転させることができます。ブレードを手で回転させ、向きを調整します。



吹出口の回転(手動)

吹出口を手で回転させ、お好みの方向に向けてください。



高さの調整(手動)

タワーファンの高さを上下に手で調整します。



自動首振り設定/左右角度調整

リモコンの首振りボタン(🌀)を押すことにより、左右の自動首振りができます。首振りの角度は45°/90°/180°から選択できます。(P.16)
リモコンの角度調整ボタン(📐)の左右矢印(↔)を押すことで、18°ずつ角度調整することもできます。(P.16)

タワーファン

ディスプレイ(LEDライト)



操作や状態に応じて5つの白色LEDライトが点灯または点滅します。



電源ボタン(⏻)

リモコン

電源ボタン

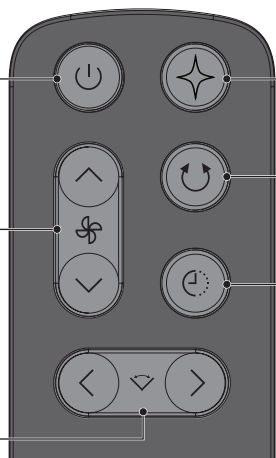
モードボタン

風量設定ボタン

首振りボタン

タイマーボタン

左右角度調整ボタン



電源のオン/オフ (P.14)	タワーファンまたはリモコンの電源ボタン(⏻)を押して電源をオン/オフします。	
風量設定 (P.14)	タワーファンの電源ボタン(⏻)を長押し、またはリモコンの風量設定ボタン(🌀)の上下矢印(⬆️/⬆️)を押すと、風量を10段階で切り換えられます。	
送風モード設定 (P.15)	リモコンのモードボタン(🌟)で送風のモードを変更できます。 通常モード、おやすみモード、ブーストモード、リズムモードの4種類から選択できます。 「通常モード」または「おやすみモード」では風量が調整できます。	
	通常モード	風量を1-10の間で調整できる、標準的な送風モードです。
	おやすみモード	睡眠に最適な風量に調整するとともにLEDライトを減光し、操作音が出ない状態(ミュート状態)にします。
	ブーストモード	通常モードの風量10よりさらにパワフルなモードです。力強い風を一気に送り出します。
	リズムモード	自然な風のように風量を変化させます。
自動首振り設定 (P.16)	リモコンの首振りボタン(🔄)を押すことで左右の自動首振りができます。 首振りの角度は45°/90°/180°から選択できます。	
左右角度調整 (P.16)	リモコンの左右角度調整ボタン(📏)の左右矢印(⬅️/➡️)を押すと、18°刻みで左右の向きを調整できます。	
タイマー設定 (P.17)	リモコンのタイマーボタン(🕒)でタイマーを設定できます。タイマー設定時は設定時間経過後に自動的に電源が切れます。設定時間は1/2/4/8/12時間から選択できます。	
消音設定(ミュート機能) (P.17)	リモコンの首振りボタン(🔄)とタイマーボタン(🕒)を同時に3秒間長押しすると、操作音が出ない状態に設定できます。再度長押しすると解除できます。	

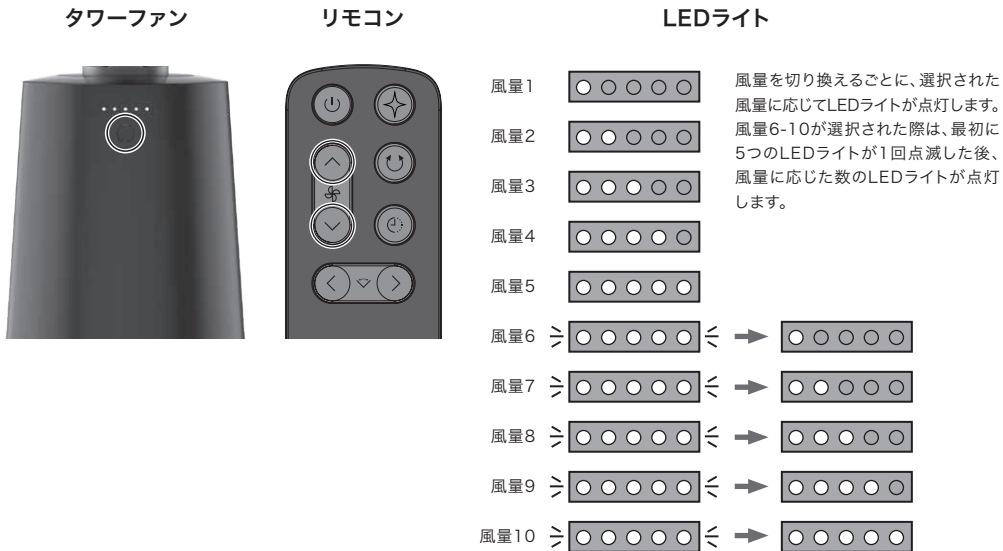
電源のオン/オフ

タワーファンまたはリモコンの電源ボタン(⏻)を押して電源をオン/オフします。



風量設定

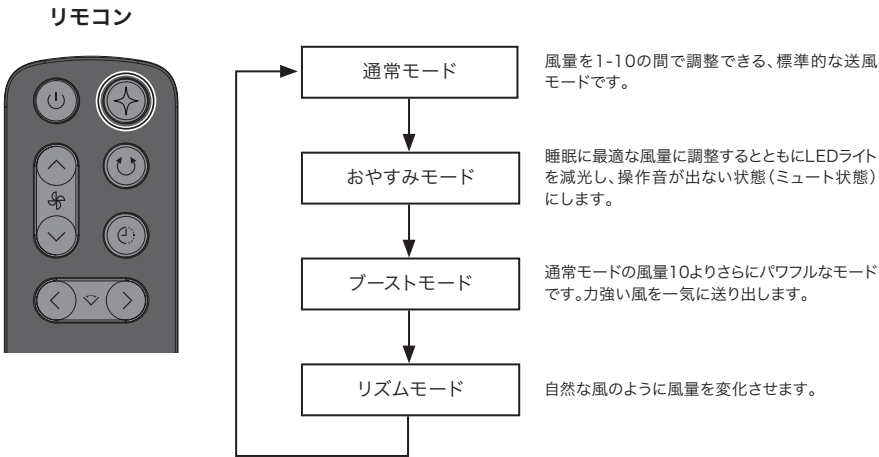
リモコンの風量設定ボタン(🌀)の上下矢印(⬆️/⬆️)を押すことで風量を1-10の間で調整できます。またタワーファンの電源ボタン(⏻)を長押しすると、風量設定を1→2→3→・・・の順に、順番に切り換えることができます。



注：風量を調整できるのは「通常モード」または「おやすみモード」で運転している場合のみです。(P.15)
「ブーストモード」または「リズムモード」で使用中に風量設定ボタンの上下矢印(⬆️/⬆️)を押すと、送風モードが「通常モード」に切り換わります。
「通常モード」に変わった後で上下矢印(⬆️/⬆️)を押すことで、風量を調整できます。
注：タワーファンのLEDライトは設定完了後、約20秒間点灯した後消灯します。

送風モード設定

送風のモードを変更できます。通常モード、おやすみモード、ブーストモード、リズムモードの4種類から選択できます。リモコンのモードボタン(🌀)を押すと、送風モードが順番に切り換わります。モードを切り換えた際には、選択しているモードに応じてLEDライトが点灯します。

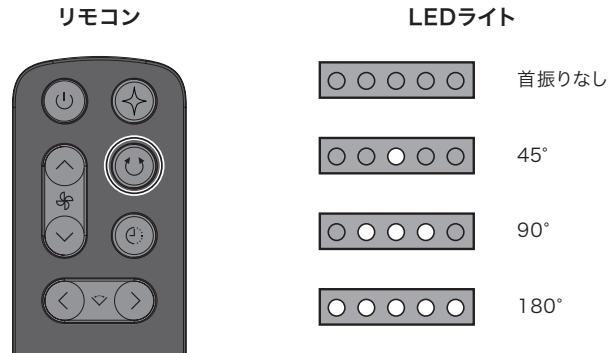


モード表示	ディスプレイのLEDライト表示
通常モード	 通常モードを選択すると消灯します。風量設定ボタン(🌀)の上下矢印(⬆️/⬆️)で風量を変更すると、風量(1-10)に応じた表示が点灯します。
おやすみモード	 全点灯後、右から左に順次消灯する表示を5回繰り返します。風量設定ボタン(🌀)の上下矢印(⬆️/⬆️)で風量を調整できます。
ブーストモード	 素早く左から右に順次点灯する表示を5回繰り返し、その後全点灯します。
リズムモード	 左から右に順次1つずつ点灯する表示を5回繰り返し、その後消灯します。

注：タワーファンから送風モードを変更することはできません。リモコンのモードボタン(🌀)を押して切り換えてください。
風量を調整できるのは「通常モード」または「おやすみモード」で運転している場合のみです。
注：「ブーストモード」または「リズムモード」で使用中に風量設定ボタンの上下矢印(⬆️/⬆️)を押すと、送風モードが「通常モード」に切り換わります。
「通常モード」に変わった後で上下矢印(⬆️/⬆️)を押すことで、風量を調整できます。
注：タワーファンのLEDライトは設定完了後、約20秒間点灯した後消灯します。

自動首振り設定

左右の自動首振りができます。首振りの角度は45°/90°/180°から選択できます。リモコンの首振りボタン(🌀)を押すと首振り角度が順番に切り換わり、LEDライトが選択した首振り角度に応じて点灯します。首振り角度が180°の状態でもう一度首振りボタン(🌀)を押すと、首振りが停止します。



注：タワーファンから自動首振り設定をすることはできません。リモコンの首振りボタン(🌀)を押して設定してください。
注：タワーファンのLEDライトは設定完了後、約20秒間点灯した後消灯します。

左右角度調整

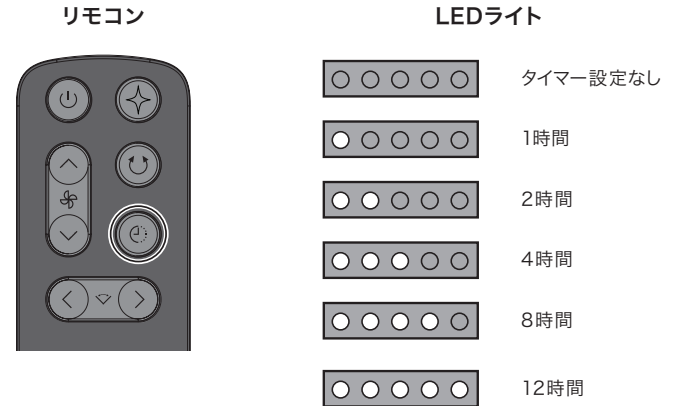
リモコンで左右の向きを調整できます。リモコンの左右角度調整ボタン(📏)の左右矢印(◀▶)を使って、18°刻みで向きを調整できます。



注：タワーファンから左右角度調整をすることはできません。リモコンの左右角度調整ボタンの左右矢印(◀▶)を押して調整してください。

タイマー設定

リモコンでタイマー設定ができます。タイマーは1/2/4/8/12時間から選択でき、選択した時間が経過すると自動的に電源が切れます。リモコンのタイマーボタン(🕒)を押すとタイマー時間が順番に切り換わり、LEDライトが選択したタイマー時間に応じて5回点滅した後点灯します。タイマー時間が12時間の状態でもう一度タイマーボタン(🕒)を押すと、タイマーが解除されます。設定後にタイマー時間を確認するには、タイマーボタン(🕒)を1回押してください。設定されたタイマー時間に応じてLEDライトが点灯します。タイマー時間を変更するには、その状態でもう1度タイマーボタン(🕒)を押してください。



注：タワーファンからタイマー設定をすることはできません。リモコンのタイマーボタン(🕒)を押して設定してください。
注：タワーファンのLEDライトは設定完了後、約20秒間点灯した後消灯します。
注：タイマー運転時、LEDライトには残り時間ではなく設定時間が表示されます。

消音設定(ミュート機能)

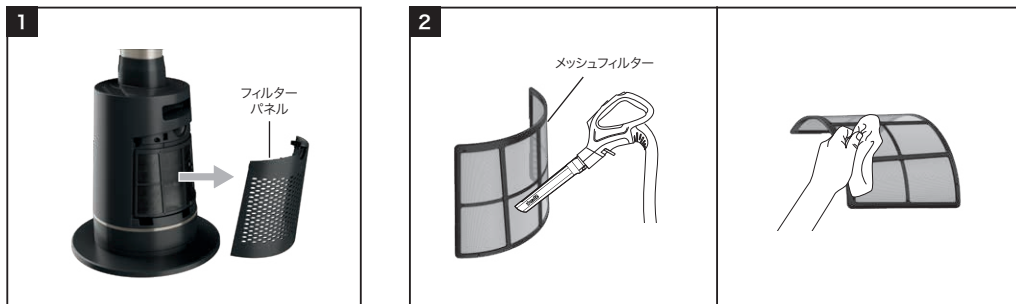
リモコンの首振りボタン(🌀)とタイマーボタン(🕒)を同時に3秒間長押しすることで、操作音が出ない状態(ミュート状態)にできます。もう一度操作すると解除できます。



注：タワーファンから消音設定をすることはできません。リモコンの首振りボタン(🌀)とタイマーボタン(🕒)を押して設定してください。

フィルターのお手入れ

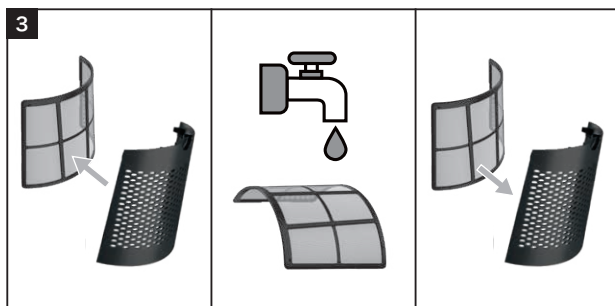
清掃やお手入れの前には必ずタワーファンの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
6か月ごと、または必要に応じてフィルターのお手入れを行ってください。



1. フィルターパネル上部のへこみ部分に指をかけてやさしく引っ張り、フィルターパネルをベースから外します。

注：メッシュフィルターをフィルターパネルから取り外す必要はありません。

2. 掃除機にやわらかいブラシノズルを取り付けて弱いパワーで運転するか、布やタオルを用いて、フィルターパネルと内側のメッシュフィルターからほこりを取り除きます。メッシュフィルターをやさしく引っ張り、フィルターパネルから取り外してお手入れいただくこともできます。



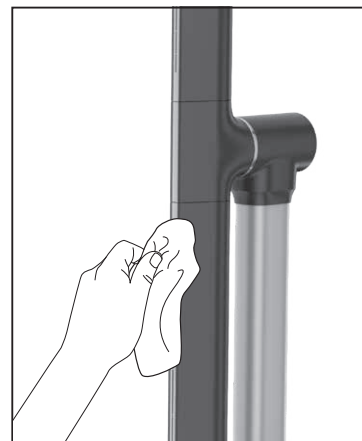
3. 汚れがひどい場合や、メッシュフィルターとフィルターパネルの間にほこりが詰まった場合は、水のみを使用して手洗いしてください。メッシュフィルターをやさしく引っ張ってフィルターパネルから取り外し、常温の水道水でフィルターパネルとメッシュフィルターを洗ってください。フィルターパネルとメッシュフィルターは自然乾燥させ、完全に乾いたことを確認してから取り付けてください。季節・環境により乾燥時間は異なります。フィルターが十分に乾いていない状態で使用すると、カビやにおい、故障の原因になります。



4. メッシュフィルターをフィルターパネルに取り付け、フィルターパネル下部のツメをベース下部のへこみに合わせ、カチッと音がするまでやさしくフィルターパネルを押し、ベースに取り付けてください。

タワーファンのお手入れ

清掃やお手入れの前には必ずタワーファンの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
6か月ごと、または必要に応じてお手入れを行ってください。



本製品の清掃には、温かい石けん水に浸してよく絞ったマイクロファイバークロスを使用し、製品の外側を拭いてください。製品の故障につながるため、クレンザー（研磨剤を含んだ洗剤）などの合成洗剤の使用や、大量の水の使用は避けてください。

リモコンの乾電池交換方法

12か月ごと、またはリモコンが反応しなくなったら乾電池を交換してください。電池交換手順の詳細についてはP.10「リモコンの準備と収納」の手順を参考に、電池収納部から古い乾電池を取り外したうえで、新しい乾電池を取り付けてください。

注：乾電池の廃棄方法についてはP.6「乾電池の廃棄について」を参照し、お住まいの自治体の回収ルールに基づき適切に処分してください。

トラブルシューティングとよくある質問

全 般	タワーファンを分解したい	本製品は完全に組み立てられた状態でのみ安全に使用できるため、分解は推奨していません。ただし、弊社にご返送いただく必要がある場合、分解していただくことは可能です。その際にはマイナスドライバーが必要です。 1. ベースからボールを取り外します（マイナスドライバーが必要です）。ベースを反時計回りに回し切った後、ボールの後ろにある開口部にマイナスドライバーを差し込み、ボールの中央に向けて押して引っ掛かりを外します。続いて、ボールを反時計回りに回してベースから取り外します。 2. ベースプレートからベースを取り外します（マイナスドライバーが必要です）。ベースプレートの底にあるフック状の引っ掛かりにマイナスドライバーを差し込み、引っ掛かりを外します。続いて、ベースを反時計回りに回してベースプレートから取り外します。 注：ブレードをボールから取り外すことはできません。
	高さが調整できない	出荷時にボールとベースに保護用のテープが取り付けられています。テープを剥がしてからご使用ください。
	首振りができない	出荷時にボールとベースに保護用のテープが取り付けられています。テープを剥がしてからご使用ください。テープを剥がしても首振りができない場合、正しく組み立てができていないか確認してください。ボールが正しくベースに組み付けられ、カチッと音がするまで時計回りに回されているか確認してください。
	ブレードが動かない、傾けられない	ブレードがボールにしっかりと取り付けられているか確認してください。差し込む側と反対側の部分を手で支えながら、ブレードをボールに隙間がなくなるまで押し付けます。正しく取り付けができると、カチッと音がしてしっかりと固定されます。ブレードを回転させるには、ブレードの片方の端を持ち、回転させたい方向に動かしてください。ブレードは360°回転させることができます。
	動作が安定しない	製品が正しく組み立てられていて、すべての部品がしっかりとカチッと固定されていることを確認してください。ベースとベースプレートの接続部、ボールとベースの接続部を確認してください。それでも動作が不安定な場合には、パーツを一度取り外して、改めて組み立て直してください。その際、すべての部品が確実にカチッと固定されるようにしてください。パーツの取り外し方法については上記の『タワーファンを分解したい』を参照してください。
	以前よりも風量が弱くなった	フィルターパネルとメッシュフィルターのお手入れにより改善する場合があります。フィルターにほこりやゴミが過剰にたまっていると、風量が弱くなる原因になります。お手入れの方法についてはP.18「お手入れ」を参照してください。
	リモコンを収納したい	リモコンはボール天面のリモコン収納部にマグネットで収納できます。
モードと機能	何もしていないのに風量が変わる	リズムモードで運転している場合、自然の風のように風量が自動的に変化します。他のモードに変更するには、リモコンのモードボタン(👉)を押してください。(P.15)
	LEDライトが消灯している	LEDライトは操作後に約20秒経つと消灯します。消灯時にLEDライトの点灯状態が変わるような操作を行うと、操作に応じたLEDライトが点灯します。
	LEDライトの表示が薄暗い	おやすみモードで運転している場合、LEDライトが減光します。他のモードに変更するには、リモコンのモードボタン(👉)を押してください。

トラブルシューティングとよくある質問

モードと機能	何もしていないのに運転が止まる	タイマー機能を使用していた場合、設定した時間(1/2/4/8/12時間)が経過すると、自動的に電源が切れます。タイマー機能を無効にするには、リモコンのタイマーボタン(🕒)を繰り返し押してください。LEDライトが全て消灯すると、タイマーが無効になります。
	ボタンを押しても操作音がならない	ミュート状態になっていると、操作音がなりません。首振りボタン(🌀)とタイマーボタン(🕒)を同時に3秒間長押しすることで、ミュート状態を解除できます。またおやすみモードで運転している場合も、操作音がなりません。他のモードに変更するには、リモコンのモードボタン(👉)を押してください。
	操作音を消したい	リモコンの首振りボタン(🌀)とタイマーボタン(🕒)を3秒間同時に長押しすることで、操作音がならないミュート状態にすることができます。ミュート状態を解除するには、同様に首振りボタン(🌀)とタイマーボタン(🕒)を同時に3秒間長押ししてください。
	LEDライトの意味を知りたい	タワーファンの5つのLEDライトは電源のオン/オフ、風量設定、首振り角度、タイマー設定、送風モード設定などの機能ごとに、設定された状態を表示します。いずれの場合も20秒経過すると表示は消灯します。
お手入れ	フィルターのお手入れ頻度を知りたい	6か月ごと、または必要に応じてお手入れをしてください。お手入れの方法についてはP.18「お手入れ」を参照してください。
	タワーファンのお手入れをしたい	本製品の清掃には、温かい石けん水に浸してよく絞ったマイクロファイバークロスを使用し、製品の外側を拭いてください。製品の故障につながるため、クレンザー（研磨剤を含んだ洗剤）などの合成洗剤の使用や、大量の水の使用は避けてください。 フィルターパネルを清掃するには、フィルターパネル上部のへこみ部分に指をかけてやさしく引っ張り、フィルターパネルをベースから外します。掃除機にやさしいブラシノズルを取り付けて弱いパワーで運転するか、布やタオルを用いて、フィルターパネルと内側のメッシュフィルターからほこりを取り除きます。メッシュフィルターをやさしく引っ張り、フィルターパネルから取り外してお手入れいただくこともできます。 汚れがひどい場合や、メッシュフィルターとフィルターパネルの間にほこりが詰まった場合は、水のみを使用して手洗いしてください。メッシュフィルターをやさしく引っ張ってフィルターパネルから取り外し、常温の水道水でフィルターパネルとメッシュフィルターを洗ってください。フィルターパネルとメッシュフィルターは自然乾燥させ、完全に乾いたことを確認してから取り付けてください。季節・環境により乾燥時間は異なります。フィルターが十分に乾いていない状態で使用すると、カビやにおい、故障の原因になります。メッシュフィルターをフィルターパネルに取り付け、フィルターパネル下部のツメをベース下部のへこみに合わせ、カチッと音がするまでやさしくフィルターパネルを押し、ベースに取り付けてください。

交換部品



リモコン

タワーファンを離れた場所から操作できます。

交換部品については sharkninja.jp をご覧ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(タワーファン(本体)への表示内容)

- 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために以下の内容の表示をタワーファン(本体)に行っています。

【製造年】(ベース背面に西暦4桁で表示してあります)



【設計上の標準使用期間】4年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証するものでもありません。
- 標準的な使用条件を超えて用いた場合に、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件 日本電機工業会自主基準 HD-116-3による

大項目	中項目	小項目	備考
環境条件	電圧	AC100V	JIS C 9601による
	周波数	50-60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	本取扱説明書に基づく設置	
負荷条件	定格負荷（風速）		本取扱説明書より
想定時間等	運転時間	8h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	110日/年	
	スイッチ操作回数	550回/年	
	首振り運転の割合	100%	

- 「経年劣化とは」…… 長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。
- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火／けが等の事故に至るおそれがあります。

保証書(2年間保証)

2年間保証は、シャークニンジャ合同会社(以下「当社」)の正規販売店からご購入いただいた製品に適用されます。保証の適用対象は、ご購入いただいた原所有者及び本製品のみであり、他に譲渡することはできません。

当社はお客様が購入された上記製品(以下「本製品」)について通常の家庭での使用条件の下で使用され、取扱説明書に記載された条件に従いお手入れが行われていることを前提としてご購入日から2年間、材質上または製造上の不具合に対する保証を提供します。ただし、下記の条件及び例外に従うものとします。

本保証書は、保証期間中本保証書に記載の条件に従って無償で修理または交換が行われることをお約束するものです。そのため、この保証は保証者(本保証書を発行した者)及びその他の関係事業者に対する、お客様の消費者としての法律上の権利に影響を及ぼすものではありません。

保証登録

この保証を受けるためにはご購入日から30日以内にお客様のご連絡先及び本製品のシリアル番号をご登録いただく必要があります。また、当社によるサービスの提供が迅速かつ効率的に行えるよう、お客様の領収書、購入日の記録及び納品書を安全な場所に保管してください。

登録方法

製品本体のQRコードをスマートフォンなどで読み取り、製品の型式を選択して入力フォームに従って登録をお願いします。ご購入いただいた連絡先の変更が必要となった場合には、シャークニンジャカスタマーサポート(以下「カスタマーサポート」)までご連絡ください。(電話番号:0120-522-552)

保証が適用される場合

1. 当社の判断により不具合があると認めた本製品または非消耗品について、最初のご購入日から2年間修理または交換を行います。
2. 万が一、本製品が交換となった場合、この保証は、交換品の受領日から6か月後か元の保証期間の満了日のうちいずれか遅い方の日に終了します。当社は本製品が交換となる場合には本製品と同額か同額以上の他の製品との交換を行う権利を有します。
3. 修理または交換のために不具合のある本製品、または部品を当社にお送りいただく際の送料と、当社からお客様に製品または部品を返送する際の送料は、当社が負担します。

保証適用外となる場合

- 2年間保証の期間内であっても以下の場合の修理または交換は有償です。
1. 本製品の正常な機能を維持するために日常的なお手入れ、または交換を必要とする消耗品が通常の使用に伴って損耗または摩耗したことにより修理または交換が必要となった場合
 2. 本製品またはその部品が改造された、または商業的に利用された場合
 3. 本製品の誤使用、乱用若しくは不注意な取扱い、または運搬中の不適切な取扱いにより本製品に不具合または損傷が生じた場合
 4. 本製品の配送に起因して本製品に不具合若しくは損傷が生じた場合、または本製品若しくはその部品に対する修理、サービス若しくは改造(当社が承認した業者による場合を除きます)に起因して本製品に不具合若しくは損傷が生じた場合
 5. 本製品が日本国外で購入され、使用され、または稼働された場合
 6. 火災、洪水、地震、落雷、暴風、ガス事故、異常電圧、停電その他の不可抗力により本製品に不具合または損傷が生じた場合
 7. 当社の求めにもかかわらず、本保証書をご提示いただけない場合
 8. 本保証書に従って保証登録が行われていない場合
 9. お客様の製品のシリアル番号と本保証書に基づいてご登録いただいたシリアル番号が同一であることが確認できない場合
 10. お客様の保証の請求が本保証書及びカスタマーサポートからのご案内に従って行われていない場合

保証請求の方法

保証の請求を行うには、下記のカスタマーサポートまでお電話にてご連絡ください。カスタマーサポートの専門スタッフが対応いたします。またその際、製品等の返送及び梱包の方法についてもご案内いたします。

カスタマーサポートの情報	電話番号:0120-522-552
	カスタマーサポートの営業時間についてはsharkninja.jp/support/ をご覧ください。
	カスタマーサポートでは、交換部品のご購入及び消耗品と非消耗品の分類に関する情報もご確認いただけます。
	また、ご自身の製品のお手入れ・メンテナンスに関する情報については、sharkninja.jp をご覧ください。

お客様のプライバシーについて

当社は、この保証に関して提供されたお客様の情報を、以下の目的にのみ使用いたします。

- ・ 購入商品に関連するアフターサービスの提供。
- ・ お客様のお問い合わせまたはご要望への回答などのカスタマーサポートの提供。
- ・ ダイレクトメール、電話、電子メールによる新製品、イベント及びサービスに関する情報の提供。
- ・ 製品の品質及びサービスの向上のためのアンケート及びモニタリングなどの調査の実施。
- ・ ウェブサイトへのアクセス、操作性等のウェブサイトの改善。
- ・ 個人が特定されない統計データの作成、開示及び公表。

お客様のプライバシーの保護については、当社のプライバシーポリシーsharkninja.jp/privacy/もご参照ください。

シャークニンジャ合同会社

〒150-6222 東京都渋谷区桜丘町1-1 渋谷サクラステージ SHIBUYAタワー 22階
電話番号:0120-522-552 (カスタマーサポート)
受付時間:9:00~17:30(年末年始、その他大型連休等除く)

購入証明書／保証書貼付用レシートなどの保管にお使いください

メモ

メモ

製品登録

製品のベース背面にある右のラベルからQRコードを読み取り、製品登録してください。保証やお問い合わせの際に便利です。

※右のラベルはイメージです。実際のラベルの形状とは異なる場合があります。



製品情報を以下にご記入ください(お客様控え) ※モデル番号とシリアル番号は上記ラベルで確認できます。

型式／モデル番号: **Shark ハイパワータワーファン TF200SJ**

シリアル番号: S/N:

購入日: 西暦 年 月 日

購入店舗: _____

(レシートは保管しておいてください)

取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

本取扱説明書は、お客様のハイパワータワーファンが十分に性能を発揮し、末永くお使いいただけるようにするためのものです。

ご不明な点がございましたら、シャークニンジャカスタマーサポートまでお電話ください。

シャークニンジャ合同会社

シャークニンジャカスタマーサポート 0120-522-552

受付時間 9:00~17:30 (年末年始、その他大型連休等除く)

sharkninja.jp

Shark®

SharkはSharkNinja Operating LLCの登録商標です。

画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

当社では常に製品の改良に努めているため、本書に記載される仕様は予告なしに変更されることがあります。

SharkNinja米国特許情報については、www.sharkninja.com/patents/ をご覧ください。

TF200SJ_IB_A4_MP_Mv6